もっといきいき健康に！地域がつながる医療と介護を目指して

帰巌会

ご自由に
お持ち帰りください

かわら版

2022.4.1
April
vol.70

芽吹く川辺の風景（大野川河川敷にて撮影）

コンテンツ

巻頭言

整形外科部長　着任インタビュー …… 2
新体制初年度 ー2022年度事業計画と予算を承認 …… 3
からだも、こころも元気になる場所 …… 4
介護職員の働き方 ーひとを支える体制づくりー …… 4
リレーインタビュー …… 5
地域の医療介護事業所 …… 5
郷土の歴史［番外編］ …… 6
インフォメーション／時事寸感 …… 6

巻/頭/言 ごあいさつ

社会医療法人帰巖会理事長
松山　幸弘

２０１１年４月に岡本病院からみえ病院へ新築移転してから12回目の春を迎えます。移転当初から三重町を中心とした周辺地域の救急～急性期～慢性期医療・介護・福祉を支えるべく日々努力を積み重ねて参りました。少しずつではありましたが、着実に実績と経験を積み上げることが出来たのはご利用いただいておられる患者さんやご家族の方々、周辺地域の医療機関様のご支援とご協力があったからです。感謝の気持ちを忘れずに今後もひとりひとりの声に耳を傾け地域の健康づくりに貢献するという理念を実践してまいります。

２０２１年度は常勤の整形外科医が不在となったため手術を必要とする整形外科領域の患者さんの受け入れが出来ずに多くの方にご迷惑をお掛けいたしました。この場を借りて深くお詫び申し上げます。今年度はようやく常勤の整形外科医を迎えることが出来ました。骨折などの整形外科救急領域はもちろん、慢性的な関節疾患においても必要とされる手術が可能となりました。ご期待ください。

新型コロナウイルス感染症第６波は下げ止まりの傾向が顕著となりつつあります。さらに海外では増加傾向にあります。その要因はオミクロン株より感染力が強い亜型変異Ba２株による感染力が強い亜型変異Ba２株による感

整形外科部長 着任インタビュー

帰巖会みえ病院　岩崎 元気 医師
平成19年　大分大学医学部卒
日本整形外科学会　整形外科専門医

自己紹介をお願いします

２０２２年４月から帰巖会みえ病院に勤務することになりました岩崎元気と申します。私自身、宮崎県延岡市に生まれ、大分大学医学部出身ということもあり、はじめての場所とは思えない親近感を感じています。とはいえ、豊後大野市のことはまだまだ知らないことばかりですので、色々と教えて頂けたらと思います。昨今のコロナの影響で、まじめにステイホームしていたこともあり、自宅での料理が趣味になりました。おいしい食材が手に入る場所など知れたら嬉しいです。

みえ病院の印象を教えてください

みえ病院は、初めて来た際に建物や院内の雰囲気が素敵な病院だと感じました。まだ数回しかお尋ねしていませんが、院内のスタッフもあいさつをしてくれたり丁寧に説明してくれたりと、とても親切でした。今後皆様と協力し合えたら、よい医療が提供できるのではないかと思っています。

専門分野や得意とする領域について教えてください

大分大学卒業後は、主に福岡で研鑽を重ねました。九州労災病院、九州大学医学部付属病院、九州がんセンターを経て、２０１３年から９年間宮崎県立宮崎病院に勤務し、現在に至ります。

以前勤めていた病院では、外傷や脊椎疾患、関節疾患をはじめ、整形外科全般の治療に携わって参りました。特に県立宮崎病院は三次救急の病院でしたので、急患手術など緊急性の高い疾患が多い環境でした。

みえ病院でどのような診療を行っていきたいとお考えでしょうか

みえ病院では、まずは外傷治療を中心に行い、ゆくゆく環境が整えば人工関節など変性疾患の治療も行っていきたいと考えています。

また、これから豊後大野市に住み、地域に貢献できるような医療を心掛けようと思っています。骨粗鬆症治療など予防医学にも目を向け、周りの方が心身ともに健康な生活を送れるよう尽力致します。

患者さんへ向けて一言お願いします

みえ病院では初心にかえり、病院スタッフの皆様、地域の病院の皆様と連携を取りながら医療を行っていく所存です。まだまだ未熟な点も多い身でありますので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

（インタビュアー　医療事業部長　井元 哲也）

整形外科外来予定表

	月	火	水	木	金	土
午前	非常勤医師	非常勤医師	岩崎医師	非常勤医師	非常勤医師	非常勤医師
午後	岩崎医師	非常勤医師 手術日	非常勤医師	非常勤医師 手術日	非常勤医師	

＊火・木の午後は手術日

染の再拡大と規制緩和による人々の交流と移動が原因であろうとされています。国内の3月末時点での新型コロナウイルスワクチン3回目接種者は約4割の5000万人に達しますが、感染拡大を強く抑制するには国民の6～7割7500～8700万人へのワクチン接種が必要と考えられます。順調に行けば4月末～5月初めに達成することが出来るでしょう。新たに国内で開発・承認が進められて有力とされる治療薬（塩野義S-217622）の使用開始が始まれば感染拡大を強力に抑制すると期待されます。しかしながら、これらの実現には数か月の期間を要するため当分の間は気を緩めることなく新型コロナウイルスの拡がりを注視し厳格な感染防御体制を構築していかねばなりません。私を含め職員一人一人、緊張感をもって日々の診療に臨みます。

全世界でウイルスが流行していても凄惨な戦争が行われていても四季は流れ春は訪れました。新たな世界に挑む季節です。先日、2012年より泌尿器科医として勤務いただいている大分大学医学部分子病理学講座教授 守山正胤先生の最終講義を聴講させていただきました。その中で「私たちは何のために研究しているのか？研究を通して明日の未来を切り開く人材を育成しています。」とおっしゃいました。我々の実臨床の現場も同じです。医療・介護・福祉全ての現場において実践を通して人材を育てその者たちに明日を託すために自らも日々研鑽を積むのです。守山先生の新たな挑戦が多くの人々の救いになることを願います（幸いにも今後も当院での勤務はご継続していただけます）。また、私たちも新たな職員を迎えます。正しく強く温かく人を救い護れる人に成長できるように教えを説き育てて行きます。

新体制初年度
――2022年度事業計画と予算を承認

常務理事　船田　茂

注ぐガソリン価格は1リットル180円、小麦など飲食品が値上げ、トイレットペーパーなど生活品も値上げ、電気やガスなど燃料費も値上げ、関係は分からないが混雑時の特急料金も値上げするという。昨今の政策に世界情勢も加わりこの傾向は収まる気配がない。

医療や介護も、2月から看護師や介護福祉士などの給与を抜本的に上げるよう政策誘導も始まった。

予算規模は56億円に

混沌たる情勢の2022年。

3月25日に開催された帰巖会社員総会で本年度の事業計画と予算が承認された。

総額56億円を超える収益予算である。実感沸きにくい数字だが、今回、部門別や事業所別に収益と費用の詳細を細かく積み上げ56億円なる数字を結構緻密な作業で作り上げた。人やモノ不足で費用が上昇しやすい時代にあって、民間医療機関は厳しさを増す一方で、あらためて1床に拘る運営を重ねていく計画とした。

この2年で800人を超える発熱者に対応してきたみえ病院は、昨年末に整備した256列CT（コンピューター断層撮影装置）や新ER（救急救命室）を有効に活用すると共に整形外科部長の着任を受け骨折等の手術増を見込んでいる。

臼杵病院は、今春の診療報酬改定前に動き出し、自宅療養する方々の入院支援を行う地域包括ケア病床を増床し一般病床での重症患者受入率を高めた。また、地域の診療が手薄になる夕方の診療に微力ながら貢献できるよう体制を整えていく。

僻地医療を担う吉野診療所やあさじ町クリニック、また臼杵風成（かざなし）診療所は、その地その地の医療を絶やさぬよう堅実な経営に努め、患者さんとの距離感を大切にした診療を続ける。昨年地元の方から「風成に診療所がまだあったのか」との声を聞き驚いたが、〝知っているだろう〟でなくあらためて伝えていく大切さを学んだ。

昨年改定された介護報酬は、中小企業並みといわれる利益率2.4％（全サービス平均）に設定されている。100万円の売上があれば2万数千円の利益を得る計算になるが、これでは人手不足への対応や設備の充実といった積極策は展開しづらく守りを固めることにした。この機会に人やモノの見直しを進め所謂走り込みを行うことで経営体質を強化する。

一所懸命

昨年7月に誕生した松山理事長体制で創る初年度の事業計画である。

地域の方が地域で治療を完結できるようここ数年で一気呵成に救急や急性期治療の充実を図ってきた。コロナ感染症も自分たちに出来ることは迅速に行うとし、発熱外来やワクチン接種など積極的に取り組んできた。三重や臼杵だけでなく朝地町や吉野地区もそうである。一所懸命の精神で帰巖会が関わる方々に接し、少しでも多くの「利用して良かった」との声を聞けるよう取り組んでいく。

地域の東の門番となれるよう病院機能を充実させ、広い地域の方々が安心して療養できるよう訪問を繰り返し、医師をはじめ看護やリハビリ、介護、その他紹介しきれない職員総数783人で2022年を乗り切っていく。

社員総会の様子

からだも、こころも元気になる場所

泉の里通所リハビリテーションセンター 相談員　安部 雅也

昨年の2月に庭の畑と花壇の拡張整備をしました。じゃがいも、白ネギ、人参、里芋、大根、白菜など土作り～収穫まで、利用者にやり方を教えていただきながら園芸活動を楽しんでいます。

車いすの方も牛乳パックを使ったラディッシュ栽培や、収穫時には人参や白菜に紐を結び付けて引っこ抜くなどみんなで楽しめるように工夫しています。人参を収穫した利用者Eさんは「まさか人参を釣り上げるとは思わんかったわぁ!!」と大笑いしながら、すてきな笑顔をみせてくださいました。

ガーデニングでは、花が咲いた時の彩りを想像しながら植える方や、自宅からキンギョソウの苗を持ってきて、水やりや追肥などの世話をする方もいます。夏には向日葵があまりに大きかったので隣に並んで写真を撮ったり、見上げてみたりと、みなさん興味津々です。

今年は、ゴーヤとキュウリのトンネル作りをしています。車いすの方でも収穫しやすいように職員が支柱を組み、元大工のEさんとネット張りをしました。ゴーヤを作っていたYさんに「種を水につけておくとよい」と教えてもらい、数週間浸け、発芽した種をプランターに植えてもらいました。彩りにとMさんにトマトの種蒔きを手伝っていただき、準備はバッチリ。今は水やり、草取りなどそれぞれできることをしていただきながら成長を見守っているところです。

「参加する・楽しむ・元気になる」をモットーに、リハビリの成果を発揮しながら「からだも、こころも元気になる場所」を目指し、私たちも楽しみながら頑張っているところです。

泉の里通所リハビリテーションセンターはケアホーム青いみちIKIの1階にあります。

介護職員の働き方 ―― ひとを支える体制づくり ――

介護事業部長補佐　橋本 茂子

1 週休3日・10時間勤務導入から見直しまで

今年10年目を迎えるケアホーム青いみちIKIは本館59室、おれんじ館13室の有料老人ホームです。高齢者が生活する介護施設では24時間、365日介護の提供が必要になります。特に夜間を担う人材の確保は重要です。2年前に導入した「週休3日・10時間勤務」も夜勤者の負担軽減が目的でした。10時間勤務導入後は「業務量、時間共に負担が減った」と満足の報告が介護職員からあがりましたが、現在、再び勤務体制の見直しをしたところです。「夜勤は良いが日勤の10時間はきつい」ことが最大の理由でした。「夜勤者の負担軽減」はもちろん「オン・オフのメリハリのある働き方」に着目し昨年12月から8時間シフト、夜勤16時間の勤務体制に変更しました。勤務時間だけであれば元に戻ったのですが、10時間勤務を経たからこそ改善できたことがたくさんありました。勤務体制は運営そのものです。現状に合っていなければ見直す、変えることを今回実感しました。今新たな勤務体制で始動しています!

2 勤務体制は「安心感」がポイント

1) シンプルな勤務シフト

⇒日勤は早番と日勤の2種類のみ。夜勤も夜勤①と夜勤②の2種類です。

2) 夜勤勤務を2人体制へ

⇒急変時や認知症利用者の対応など1人夜勤の心理的な不安を解消するため各階夜勤者を2名にしました。

3) 新人職員の夜勤習得

⇒「ベテラン職員」と「新人(初心者)」の2名体制ですので不明、疑問点はその場で聞ける環境で夜勤業務を学びます

4) 介護量が増加する時間帯に手厚い職員配置

⇒介護量や事故が増加する朝・夕食時前後の時間帯は1名増員しました。

朝食時間 7：00－8：30	夕食時間 17：30－18：30
利用者30名に対し職員5名	利用者30名に対し職員4名
移乗介助：2名 フロア：1名 居室訪問：1名 随時対応：1名	移乗介助：2名 居室訪問：1名 随時対応：1名

※上表(2020年3月時点、介護職員数25名)
※下表(2022年3月時点、介護職員総数23名)

実働10時間勤務時の勤務体制

勤務形態	勤務時間	介護職数
早番	7：00－18：00	2人
日勤	8：00－19：00	2人
遅番	10：00－9：00	2人
夜勤	22：00－9：00	1人
1日の出勤者		7人

実働8時間勤務変更後の勤務体制

勤務形態	勤務時間	介護職数
早番	7：00－16：00	3人
日勤	10：00－19：00	2人
夜勤	16：00－8：30	1人
	16：00－9：00	1人
1日の出勤者		7人

リレーインタビュー 39回目

介護老人保健施設泉の里　副施設長
筑紫　幸恵

2022年2月に老人介護保険施設「泉の里」に異動し2か月が過ぎました。

社会では、複数年続く新型コロナ感染症の蔓延で人々の生活様式は変わり、看護職を取り巻く環境も大きく変化しています。世界ではロシアのウクライナ侵攻が続き、命や家や家族等を失う報道があるたびにやり場のない気持ちになります。

そのような中、先日(3月5日)「第44回大分県看護研究学会」が(公益社団法人大分県看護協会主催)開催されました。テーマは「看護の力を今!~支え続けよう、いのちと暮し」です。感染防止のためWeb参加も可能なハイブリッド形式でした。特別講演に、甲南女子大学副学長で看護リハビリテーション学部の学部長である秋元典子先生を招き、「看護の約束、命を守り、暮らしを支える」と題し講演がありました。

「看護は、社会に対してこういうことができる、看護の約束を言明し実践できていますか?」「看護ならではの仕事の実際を人々に見せていますか?」と問いかけがありました。これは、講師自らの経験によるものや看護職の専門性の追求や役割拡大で、看護職の在り方が様々議論されている現状から投げかけられた問いでした。看護職者として、どのようなアイデンティティをもち、明確に回答できるかを試されたと考えます。

命を守るのは医療職の基本的責任です。看護師は病気や治療法を知り、身体に働きかける看護技術を持っています。また、これらを用いて日常生活行動を整え支援する技術も持ち合わせています。これらを提供する中で、対象者の苦痛や不快等を緩和させることができます。日常業務や感染防止対策、目標達成や目の前の忙しさに追われても看護の原型は変わらないと再認識し、看護を見つめ直す機会を得て元気がでました。

現在、泉の里では首藤施設長はじめ職員間で日々連携し、入居者の状態を廻診やカンファレンス等を通し、情報共有とアセスメントを繰り返し力合わせ支援しています。介護力は高く、職員は丁寧に入居者に寄り添い対応できています。副施設長として、前神田副施設長の想いを受け継ぎ、職員と共に新たに歩んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、この場をお借りして、異動前の2年間は臼杵病院で勤務し様々な出会いと経験を得て多くの方に支えられました。心よりお礼と感謝を申し上げます。

地域の医療介護事業所

医療法人八宏会　有田胃腸病院

有田胃腸病院は、おなかの病気の診断・治療の専門病院です。

経験豊富な消化器外科、消化器内科、放射線科の各専門医と協力しながら、診察、検査そして時代に即した治療までの一貫した診療を行っています。

当院では、定期的な内視鏡検査を受けて頂くことで胃がん・大腸がんの早期発見に努めており、検査・治療件数は、上部（胃）内視鏡で年間6000件、下部（大腸）内視鏡は年間2500件おこなっています。

外科に関しては、外科専門医の院長を中心に、常時3名の体制で、胃がん、大腸がんといった悪性疾患、虫垂炎、胆のう疾患、ヘルニア、肛門疾患等に対して幅広く外科治療を行っています。特に、内視鏡検査で発見された早期がんに対しては、低侵襲手術(腹腔鏡手術)、機能温存手術を行い、患者さんの術後の生活の質の向上と満足が得られることを目指し、また進行がんに対しては外科治療、抗がん剤治療等を組み合わせた集学的治療を積極的に行っています。

放射線科の領域ではX線撮影システムに加え、80列X線CT装置、1.5テスラMRI装置、超音波診断装置、マンモグラフィ装置を導入し、全身の種々の疾患を迅速かつ正確に診断することを目指しています。

その他、肝臓内科、炎症性腸疾患（IBD）、循環器内科、皮膚科の各専門外来もございます。

土曜日、日曜日（第1.3.5週）も検査ができますので、おなかが痛い、おなかが張る、便が出ない、食欲がない、吐き気・嘔吐、下痢などの症状でお困りの方がいつでも気軽に駆け込める病院としてご相談、受診頂ければ幸いです。

女性の医師や検査技師が複数名いますので、女性の患者さんにも安心してご相談いただきたいと思います。

理事長	松山 桂子（消化器内科）
院長	白水 章夫（消化器外科）
標榜診療科目	消化器科、肛門科、放射線科、外科、内科、リハビリテーション科、皮膚科
診療時間	8：30～12：00　14：00～17：00
休診日	月曜日、第2、4日曜日、祝日

〒870-0924　大分市牧1丁目2番6号
☎ 097-556-1772　平和市民公園能楽堂の隣にあります

郷土の歴史 ［番外編］

豊後大野市ジオガイド
後藤 宕子（ひろこ）

ロッジきよかわ・JOKISAUNA（ヨキサウナ）

清川には清流奥嶽川が流れている。

岩戸で緒方川と合流し大野川となり、別府湾へと注がれている。岩戸の上流5キロメートル程の場所に「ロッジきよかわ」の宿泊施設とテントサウナがある。温泉県大分の中にあって温泉の出ない自治体が2箇所ある。そのうちの1箇所が私たちの住んでいる豊後大野市だ。

しかし、温泉がないことを逆手にとって始まったのが〝サウナのまちづくり〟だ。皆さま方は、既にご存じだと思うが市内には5箇所のサウナ施設がある。ロッジきよかわに設置しているサウナはJOKISAUNA（ヨキサウナ）というテントサウナである。

JOKIとはフィンランド語で「川」という意味だそうだ。ここでは大分名産カボスを使用したカボスローリュが体験できる。サウナで熱せられて身体が熱くなれば目の前にある清流奥嶽川にドブン！川の対岸には、カフェ・パラムのサウナもある。

大自然の緑と清流に囲まれたロケーションでホッと一息つける最高の場所だと思う。体をととのえ川から上がれば川沿いのテラスでのんびり過ごしたり、サウナ飯バーベキューも楽しい。そのままお泊りも出来るし宿泊客限定で朝サウナ、星空サウナも体験できる。

騒がしい浮世を離れてゆっくり、のんびり過ごし気持ちをリフレッシュして、又明日につなげるのもいいかもしれない。ここはサウナ、宿泊だけでなく誰でも気軽に遊び来れる場所でもある。親子で楽しく魚釣りをしたり、夏は泳いだりもぐったり、ゴムボートで遊んだり、珍しい石を探して花や動物のアートを楽しんだり皆さんそれぞれの遊び方、過ごし方は無限大。

是非、今年の夏は清川町井崎の川で思いっきり遊び、そしてロッジきよかわのテントサウナを体験して楽しい思い出をたくさんつくっていただきたいと思っている。

病児保育 さくらんぼ

インフォメーション information

「さくらんぼ」は、病気のお子さん（0歳～12歳まで）専用の保育施設です。

みえ病院敷地内にあり、病児の病状毎に部屋を設けて専属の看護師・保育士が病態に合わせた関わり・ケアを行っています。

ピーク時には1日10人近い病児をお預かりすることもありましたが、ここ2年ほどは新型コロナウイルスの影響もあり、比較的適度にゆったりしたお預かり状況が続いておりますのでこの機会にご用命・ご利用ください。

また、ご利用申込はこれまで電話予約での受付としておりましたが、2021年10月よりインターネット経由で専用サイト「あずかるこちゃん」（ネット予約）にアクセスいただいての予約となりましたので、ほとんどがスマホ（LINE等）からのお申込みとなっています。

▶ご利用：月曜日～土曜日（祝祭日は除く）
午前8時00分～午後6時00分

▶申込み：「あずかるこちゃん」にアクセスし、利用登録（初回のみ）・予約が必要です

あずかるこちゃん
病児保育ネット予約サービス

https://azkl.jp/users/confirmation_emails/new

時事寸感

2月末に始まったロシアによるウクライナ侵攻（戦争）の様子が毎日、マスコミ映像から飛び込んでくる。キエフ、オデッサといった著名な都市だけでなく、マリウポリとかハリコフといった地名も憶えてしまった。ロシアの砲撃で壊滅寸前の町の名前だ。ウクライナ：我々の世代の多くは、ソ連の共和国、大穀倉地帯、スターリンの大粛清と大量餓死、ナチスドイツの侵攻、そして近年ではチェルノブイリ原発大事故、概ねこんな感じと推察する。レーニンのロシア革命は1917年、この国がソ連に編入されたのが21年、その間、ボルシェビキ（ソ連共産党）の赤軍と4年間も「反革命の」戦争していたことや、30年代のスターリンの苛烈な支配への反発から、侵攻してきたナチスドイツを「解放軍」と呼んだ時期さえあったことと等々、少し調べると、驚くべき歴史の事実が浮かび上がってくる。91年のソ連崩壊と同時に独立し、復活した国歌のタイトルも「ウクライナは未だ死なず」と凄まじい。

もう半世紀以上前になるが、高校3年の春、文学青年のYという同級生が、突然教壇に上がって「君らはベトナムで毎日多くの人がアメリカ軍に殺されているのを何とも思わないのか…」と涙して訴えたことがあった。当時私は、体育会系で風紀委員長とかを歴任する秩序派の「優等生」だったが、激しく動揺し、後日学校をサボって、衣笠山の立命館大学近くで、丸一日話し合ったことがあった。彼はそれから1年も経たずに自ら命を絶ってしまった。私は、理由はともかく、退寮、無期停学と、優等生をやめてしまうことになった。

もっと遡って小学校5年くらいの頃、キューバ危機が報じられ　核戦争勃発かという情勢下、担任の先生にどうしたらよいのか聞いたことがある。担任は「子供はそんなこと考えなくてよい」としか言わない。腹立たしかった。今「アメリカが参戦したらどうなりますか？」と小学生から聞かれたら、存外同じように答えてしまう様な気がする。正視に堪えないおぞましい事実が進行している。正邪もほぼ割れている。それでも歴史は難しい。

（帰巖会副理事長　榎本　祥文）

帰巖会 かわら版
〒879-7111　豊後大野市三重町赤嶺1250-1
社会医療法人帰巖会　■発行者／理事長 松山幸弘　■編集／法人本部
http://www.kigankai.or.jp/
tel.0974-22-2222